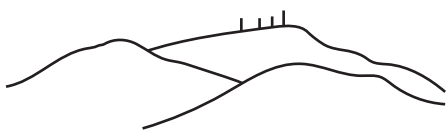


Youth Manna

2020/8/3 - 8/9



マルコ 1:35

さて、イエスは朝早く、まだ暗いうちに起きて寂しいところに出かけて行き、そこで祈っておられた。

2020/8/3(月)
ルカ 14:1-14

人々が良くない思いでイエス様を見ている中、イエス様は今までと同じように水腫をわずらっている人に愛を表された。たとえ自分に敵対する人がいたとしても、神様の目に正しいことをしていきたいね。

7-11の自らを低くするとはどういうことだろう？本当の謙遜のモデルはイエス様にあります。イエス様はしもべの姿をとり、自らを低くし、十字架の死にまで従われた方です。

12-14のたとえを読むとき、私たちが誰かのために行っていることが見返りを求めない純粋な愛の行為となっているだろうか？イエス様は自分を十字架にける者にも、愛を注がれた方です。

僕らの模範であるイエス様のように歩もう！イエス様だったらどうするだろうかと考えながら今日を生きよう！

2020/8/4(火)
ルカ 14:15-24

この例えは神様がユダヤ人を預言者や使徒などを用いて、その救い(宴会)に招いたけど、招かれた人が自分の都合を優先して拒否したように、ユダヤ人達も拒否することを表しています。主人は怒って、その特別な宴会に本来予定してなかった人達を招きました。そのように救いの選びもユダヤ人から異邦人うつりました。ユダヤ人の指導者達は口では神を敬っていましたが、心では違ったのでイエス様を拒否してしまいました。

「もう用意はできました。」(17)と救いの贖いを完了してくだり、熱心に宴会(天国)に招いてくださるイエス様から目を離さないで生きよう！！周りの人もその宴会に行けるように、救いを祈ろう！！

2020/8/5(水)
ルカ 14:25-35

この箇所は、信仰者として生きる覚悟について教えている。

26節で言われているように、信仰者は時に大切な人と決別する覚悟を求められることがあるが、神は何倍にも増して報いてくださる。また、試練や苦しみ、孤独や辱めなど、信仰ゆえに受けるようになる自分の十字架を負う覚悟も求められる(27)。そして、計画無しに挑み失敗するような生き方ではなく、人間には神の側に立つか立たないか、人生をかけた応答が求められている(28-33)。覚悟のない中途半端な信仰生活を送るなら、塩気を失った塩のように投げ捨てられる人生となってしまふ。

溢れるばかりの祝福を与えてくださる主に、人生をかけて支えていく覚悟を与えてくださいと祈ろう。

2020/8/6(木)
ルカ 15:1-10

今日の箇所はいなくなった一匹の羊の例え話が書かれている。

一人として滅びることを望まない救い主は九十九匹残っているからと満足せず、いなくなった一匹を探す。これは九十九匹より一匹の羊が大切という誤解をする人もいるかもしれないが、数で見ているのではなく、罪人が悔い改め、神の元へ帰ってきた喜びの大きさが語られている。

銀貨の例えも同じようなことである。

失われた人々が救われる喜びは計り知れない。一人一人が本気になって人の救いを祈ろう！！

鼻の日 2020/8/7(金)
ルカ 15:11-24

父親は神様を、息子たちは人を表している。父親の姿から神様の姿を考えてみよう。

●待っておられる神様

父は弟息子が帰ってくることをずっと待っていました(20)。一方で父は、弟息子が遠い国へ旅立つとき無理やりとめませんでした。どうして力づくでとめなかったのだろう？

人には自由意志があります。どんな行動をとるか、自分で決めることができます。神様は、私たちが自分の意志で神様の下に帰り、ともにいることを願っておられるのです。

●赦される神様

父は悔い改めの心をもって帰ってきた息子を赦し、歓迎しました。神様のもとへ帰るなら、そこには無条件の罪の赦しと愛がある。

●今日のおすすめ

神のもとへ帰ろう。
神様は両手を広げて待っている。

2020/8/8(土)
ルカ 15:25-32

今日の箇所では、弟が家に帰ってきて祝っていることをお兄ちゃんが喜ばなかったことが書いてあるね。お兄ちゃんは、罪を犯したのに帰ってきたことでお祝いを受けている弟が羨ましくて、妬んでしまった。でもお父さんは、いつも一緒にいることの大きい恵みをお兄ちゃんに語っているね。

神様に従って歩むとき、神様は実際に目に見える祝福も与えてくださる。だけど、それ以上に神様と一緒に歩むこと自体に大きな祝福があるんだ。私たちが主と共に歩む恵みに気づけるように祈ろう！

そして、天のお父さんが喜んでるように、新しく教会に来る人を喜び歓迎していこう！

2020/8/9(日)
ルカ 16:1-13

神様の目から見た私たちの地上生涯はほんのわずかな時間でしかありません。それでも神様は私たち一人ひとりをこの時代に置いてくださって、それぞれの役割、それぞれの場所に遣わして下さっています。

イエス様が話された管理人は、不正な方法をほめられたのではなく、与えられたものを正直に用いて友をつくったことをほめられました。私たちもこの地上生涯で、神様からたくさんのもので与えられています。その一つひとつを、何のために用いているでしょうか。

神様の前に静まり、神様から与えられたものを正しく用いることが出来るように祈ろう。神様、すべてあなたが与えてくださったことを感謝します。与えられたものをあなたのために忠実に用いることが出来ますように。